



2025年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年10月27日

上場会社名 美樹工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 1718 URL <https://www.mikikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 尚一郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 池畑 正俊

TEL 079-281-5151

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	27,365	34.7	2,071	100.0	2,044	96.1	1,263	118.1
2024年12月期第3四半期	20,322	14.2	1,035	4.6	1,042	4.4	579	13.2

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 1,483百万円 (116.4%) 2024年12月期第3四半期 685百万円 (13.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	1,156.35	—
2024年12月期第3四半期	530.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	37,452	19,088	44.9
2024年12月期	32,571	17,887	48.3

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 16,807百万円 2024年12月期 15,739百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	100.00	—	100.00	200.00
2025年12月期	—	150.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	150.00	300.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	35,000	28.2	1,900	67.5	1,900	64.5	1,100	67.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期3Q	1,153,263 株	2024年12月期	1,153,263 株
期末自己株式数	2025年12月期3Q	60,334 株	2024年12月期	60,302 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年12月期3Q	1,092,947 株	2024年12月期3Q	1,092,985 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善する中、設備投資や個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調が続きました。一方で、不安定な国際情勢や資源・エネルギー及び原材料価格の高騰、円安や物価上昇の継続等による国内景気への影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、公共事業や企業の建設投資は引き続き堅調に回復していますが、資材価格の高止まりや慢性的な労務費の高騰に伴う建設コストの上昇による収益性の低下が懸念されます。

当社グループの業績につきましては、建設事業セグメントにおいて、前連結会計年度にM&Aにより株式会社ヒョウ工務店を取得し連結子会社としたことや、1棟売収益マンションの売却が行われたことなどから、売上高は前年同期比34.7%増の27,365百万円となりました。

利益につきましては、当社において収益性の高い工事の完成があったことや工事進行基準による工事進捗の影響等から、営業利益は前年同期比100.0%増の2,071百万円、経常利益は前年同期比96.1%増の2,044百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比118.1%増の1,263百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、下記のセグメント別営業利益には、セグメント間の内部取引に係る金額を含んでおります。

<建設事業>

建設事業セグメントに関しましては、大型物件工事の工事進捗による影響に加え、1棟売収益マンションの売却が行われたことから、売上高は前年同期比59.7%増の16,887百万円となりました。利益につきましては、売上高の増加に加え、当社において収益性の高い工事の完成があった影響等から、営業利益は前年同期比134.5%増の1,524百万円となりました。

<住宅事業>

住宅事業セグメントに関しましては、連結子会社であるセキスイハイム山陽株式会社において期間売上の平準化が進み、新築引渡棟数が増加した影響から、売上高は前年同期比7.6%増の10,292百万円、営業利益は前年同期比36.8%増の532百万円となりました。

<その他事業>

その他事業セグメントに関しましては、売上高は前年同期比4.1%増の185百万円となりました。利益につきましては、物価高の影響に伴い売上原価が増加したこと等から、営業利益は前年同期比4.0%減の7百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、当社において1棟売収益マンションの売却に伴う現金預金の増加及び販売用不動産の取得に伴う棚卸資産の増加等から、37,452百万円（前連結会計年度末は32,571百万円）となりました。

負債につきましては、当社において工事進捗の影響により支払手形・工事未払金等が減少しましたが、工事代金の支払いに伴う資金需要の増加により短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が増加したこと等から、18,363百万円（前連結会計年度末は14,683百万円）となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加等により19,088百万円（前連結会計年度末は17,887百万円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年7月28日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,572,905	4,958,946
受取手形・完成工事未収入金等	5,311,149	5,758,066
棚卸資産	7,152,779	8,640,522
預け金	44,615	58,756
その他	426,063	894,708
貸倒引当金	△799	△200
流動資産合計	15,506,712	20,310,800
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	3,838,946	3,783,082
機械・運搬具（純額）	931,931	845,385
工具器具・備品（純額）	723,939	724,905
土地	9,243,008	9,345,303
リース資産（純額）	117,279	145,777
建設仮勘定	35,137	696
有形固定資産合計	14,890,244	14,845,151
無形固定資産		
のれん	225,577	174,224
リース資産	32,737	21,074
その他	26,595	24,397
無形固定資産合計	284,910	219,697
投資その他の資産		
投資有価証券	770,584	887,148
繰延税金資産	484,027	451,189
その他	645,151	748,798
貸倒引当金	△10,165	△10,165
投資その他の資産合計	1,889,598	2,076,972
固定資産合計	17,064,752	17,141,820
資産合計	32,571,464	37,452,621

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,190,344	2,019,317
短期借入金	2,130,000	5,300,000
1年内償還予定の社債	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,195,260	2,009,706
リース債務	70,438	68,914
未払法人税等	217,250	377,517
未成工事受入金	1,943,761	1,921,625
賞与引当金	176,595	405,905
役員賞与引当金	16,200	—
完成工事補償引当金	18,396	30,447
工事損失引当金	11,996	2,656
資産除去債務	34,000	34,000
その他	1,072,588	1,141,531
流動負債合計	9,076,830	13,611,624
固定負債		
社債	300,000	—
長期借入金	3,482,609	2,864,865
リース債務	76,385	92,047
退職給付に係る負債	885,235	935,025
役員退職慰労引当金	209,340	184,691
資産除去債務	291,677	346,876
その他	361,632	328,783
固定負債合計	5,606,879	4,752,289
負債合計	14,683,710	18,363,913
純資産の部		
株主資本		
資本金	764,815	764,815
資本剰余金	705,825	705,825
利益剰余金	14,218,945	15,209,536
自己株式	△111,439	△111,636
株主資本合計	15,578,146	16,568,540
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	187,811	261,106
退職給付に係る調整累計額	△26,068	△22,565
その他の包括利益累計額合計	161,743	238,540
非支配株主持分	2,147,864	2,281,626
純資産合計	17,887,754	19,088,708
負債純資産合計	32,571,464	37,452,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	20,322,515	27,365,813
売上原価	15,550,754	21,355,935
売上総利益	4,771,761	6,009,878
販売費及び一般管理費	3,736,077	3,938,249
営業利益	1,035,684	2,071,628
営業外収益		
受取利息	6,054	6,936
受取配当金	7,489	7,409
持分法による投資利益	4,303	6,295
貸倒引当金戻入額	1,280	—
その他	14,859	24,519
営業外収益合計	33,986	45,160
営業外費用		
支払利息	26,702	65,343
その他	373	7,368
営業外費用合計	27,076	72,712
経常利益	1,042,593	2,044,076
特別利益		
固定資産売却益	0	37,945
特別利益合計	0	37,945
特別損失		
固定資産除却損	149	73
特別損失合計	149	73
税金等調整前四半期純利益	1,042,445	2,081,949
法人税等	355,138	675,695
四半期純利益	687,307	1,406,254
非支配株主に帰属する四半期純利益	107,738	142,428
親会社株主に帰属する四半期純利益	579,568	1,263,826

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	687,307	1,406,254
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,902	73,294
退職給付に係る調整額	△28,775	3,503
その他の包括利益合計	△1,872	76,797
四半期包括利益	685,434	1,483,051
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	577,695	1,340,623
非支配株主に係る四半期包括利益	107,738	142,428

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位 : 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設	住宅	計				
売上高							
一時点で移転される財又はサービス	4,269,179	8,483,267	12,752,447	178,557	12,931,004	—	12,931,004
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	4,756,175	321,514	5,077,689	—	5,077,689	—	5,077,689
顧客との契約から生じる収益	9,025,355	8,804,781	17,830,137	178,557	18,008,694	—	18,008,694
その他の収益	1,548,973	764,847	2,313,821	—	2,313,821	—	2,313,821
外部顧客への売上高	10,574,328	9,569,629	20,143,958	178,557	20,322,515	—	20,322,515
セグメント間の内部売上高又は振替高	354,185	5,241	359,427	69	359,496	△359,496	—
計	10,928,514	9,574,871	20,503,385	178,626	20,682,011	△359,496	20,322,515
セグメント利益	650,237	389,323	1,039,561	7,567	1,047,128	△11,444	1,035,684

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、全額セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「建設事業」セグメントにおいて、株式会社ヒョウ工務店の株式を取得し連結子会社としたことに伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては237,449千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設	住宅	計				
売上高							
一時点で移転される財又はサービス	4,858,567	9,436,598	14,295,166	185,874	14,481,040	—	14,481,040
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	9,052,571	97,356	9,149,927	—	9,149,927	—	9,149,927
顧客との契約から生じる収益	13,911,139	9,533,954	23,445,094	185,874	23,630,968	—	23,630,968
その他の収益	2,976,523	758,321	3,734,845	—	3,734,845	—	3,734,845
外部顧客への売上高	16,887,663	10,292,275	27,179,939	185,874	27,365,813	—	27,365,813
セグメント間の内部売上高又は振替高	246,866	12,783	259,650	151	259,801	△259,801	—
計	17,134,530	10,305,059	27,439,589	186,025	27,625,615	△259,801	27,365,813
セグメント利益	1,524,629	532,673	2,057,302	7,260	2,064,563	7,064	2,071,628

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、全額セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	357,215千円	359,141千円
のれんの償却額	—	31,683